さいたま市議会議員
出雲けいこ

こころにっこりの
さいたま市へ





立憲・国民・無所属の会さいたま市議団
さいたま市議会レポート
2026 autumn
発行／さいたま市議会議員　出雲けいこ事務所
さいたま市西区内野本郷448-9-201
TEL 048-607-9593
FAX 048-715-0919
E-mail izumokeiko@outlook.jp
HP https://www.izumokeiko.com/

活動報告
Instagram

／ ご相談 連絡先



本会議場にて決算議案
関連の討論に登壇

2026年9月2日から10月16日までの45日間で開催されました

市長提出議案・補正予算議案、決算議案、人事議案などが35件、議員提出議案1件、すべて原案通り可決・同意・認定されました。

補正予算から



○日本版DBS：12月のこども性暴力防止法の施行に向けて、
児童福祉・障害福祉の事業者が国の認定を受けるための経費を補助します。
○放課後児童クラブ：委託料を増額し、支援員の経験に応じた処遇改善
の加算を新たに設けます。



○介護予防総合センター：2027年4月の開設に向けて準備します（芝浦工業大学キャンパス内）。
○リチウム蓄電池など：2027年4月から、ごみステーションでの収集が始まります。
○下水道：八潮市の道路陥没事故を受けた調査の結果をもとに、緊急対策が必要な管を修繕します。

≪試行実施≫ 区役所・市税事務所の窓口受付時間が変わります

2027年1月4日（月）から1年間の試行で、区役所・市税事務所の窓口受付時間が変更になります（以下の表を参照）。職員の時間外勤務を減らし、事務を効率化するための取り組みです。市の調査では、この時間で来庁者の約9割に対応できるとしています。支所・市民の窓口は変わりません。コンビニ交付やオンライン手続き、毎月最終日曜日の休日窓口も利用できます。試行中に市民への影響を検証し、本格実施を判断します。

受付時間	現 在	2027年1月4日(月)から
窓 口	午前8時30分～午後5時15分	**午前9時～午後4時30分**
電 話	午前8時30分～午後5時15分	変わりません

さいたま市
ホームページより

さいたま市の
防災メールに
登録している方へ

大切なお知らせ

防災情報システムに
不正アクセスがあり、
個人情報が漏えいした
可能性があります。

■対象となるサービス
・防災行政無線メール（防災無線の放送内容をメールで受け取るサービス）
・災害時防災情報電話サービス（携帯電話やスマートフォンを持たない方に、
避難情報を電話・FAXで届けるサービス）

最新情報は
こちらから

■漏れた可能性のある情報（10月15日時点）
・防災行政無線メール：34,783件のメールアドレス、
その内、195件は本市職員　の氏名と紐づいて漏洩していた
・災害時防災情報電話サービス：73件の氏名、電話番号またはFAX番号

■登録している方へのお願い
・心当たりのないメールは開かず、本文のリンク（URL）や添付ファイルはクリック
しないでください
・個人情報やパスワード、カード番号などを求めるメールや電話には応じないで
ください

学校のカスハラ対策指針ができました

改正労働施策総合推進法の施行で、10月1日から働く人をカスタマーハラスメント（カスハラ）から守る措置が、企業や役所などすべての事業主に義務付けられました。

さいたま市では、市職員向けの「カスタマーハラスメント対策基本方針」に続き、教育委員会も「さいたま市立学校におけるカスタマーハラスメントへの対応に関する指針」を定めました。

▸ご意見・ご相談は、これまでどおり大切に

正当な意見や苦情・要望を、一律にカスハラとして扱うことはありません。困ったことは、これまでどおり学校に伝えてください。

▸カスハラにあたる行為の例

・合理的な理由のない担任・顧問や成績の変更の要求
・落ち度がないのに謝罪や土下座、賠償などを求める
・暴言、脅し、威圧的・差別的な言動
・長時間・長期間の執拗な要求、居座り
・SNSでの誹謗中傷、先生の無断撮影

▸守られるのは、先生だけではありません

学校警備員、給食調理員、学校ボランティアなど、学校を支えるすべての人が対象です。

▸学校の対応は

・一人の先生に任せず、組織で対応
・必要に応じて録音・記録で事実を確認
・警告しても続けば、対応を打ち切ることも
・教育委員会・警察・弁護士と連携など

出典：さいたま市立学校におけるカスタマーハラスメントへの対応に関する指針

さいたま市カスタマーハラスメント対策基本方針

カスタマーハラスメントです。



保護者・地域のみなさんへのお願い

① 気になることは、まず冷静に、具体的に伝えてください
② 相談は学校の時間内に、決められた窓口へ
③ SNSに書き込む前に、まず相談を
④ 話がかみ合わないときは、教育委員会などにも相談できます

先生が心身ともに元気でいられることは、子どもたちの学びを守ることにつながります。同時に、保護者が安心して相談できることも欠かせません。
学校と家庭の間に立つ第三者の相談窓口づくりなど、両立できる仕組みを求めています。



決算特別委員会

「逃げないでいい」社会へ　－DVの被害と加害－

Q1. DV（ドメスティック・バイオレンス）の相談件数は増えている一方、エスカレートして事件に至っているケースもある。啓発グッズなどは被害者向けだけでなく、加害する側が「もしかしたら自分が」と気づける視点も必要ではないか。

A1. 被害者が事件に巻き込まれたり、避難を余儀なくされたりする現状があり、被害者が逃げないで済む支援に向けて、加害行為の再発防止も重要と考えている。2025年度に検討を重ね、2026年度から「DV加害者プログラム実施者養成講座」を実施している。

Q2. 個人が「自分は加害者かもしれない」と思ったときに、相談できる先があることを示してほしい。

A2. パートナーとの関係をやり直したいという相談もある。そうした方には、相手方も含めて、団体とのつながりを生かして加害者プログラムを案内していく。

被害者が住まいや学校・仕事などの生活を手放して逃げるしかない状況を変えるには、加害をやめるための支援も欠かせません。



DV・モラハラをやめたい人のためのプログラム
☎ 048-830-2925

DVは、配偶者や交際相手から行われる暴力行為です。身体的な暴力のほか、大声でどなることや、ほかの人とのメールをチェックすることなどの精神的な暴力も含まれます。



学校での「断熱ワークショップ」をもっと多くの学校へ

決算特別委員会

Q1. 学校での断熱ワークショップを行った成果は。

A1. 小学校で、児童と保護者が参加するワークショップ形式で簡易的な断熱施工を行っている。断熱のための内窓のパネル作りや、室温の変化による効果を体験してもらい、気候変動に対応する行動につなげることが目的。子どもたちからは「手で触れて直接温度の違いを観察できてよかった」「サーモカメラで温度の差を確認できた」「断熱窓が役に立っていることを知ることができた」といった感想があり、一定の行動変容につながっていると考えている。



Q2. このワークショップは、親子で断熱の大切さを知る貴重な機会。参加した家庭が自宅でも取り組むきっかけになり、学校も暑さがやわらぎ、光熱費も下がる。積極的に進めるべきでは。

A2. 2024年度に始めた事業で、10区で毎年2校程度ずつ実施できるよう取り組んでいる。今年度も2校で実施する予定だったが、1校にとどまった。今後も教育委員会と連携して実施していく。



断熱ワークショップの開催報告
・気候変動の講義資料
・内窓DIY説明資料



学校のエアコンはどうなるの？（市立小・中・特別支援学校163校）

	どこに	工事時期
体育館	30校の体育館に、別事業で先に設置（断熱・遮熱整備も含む）	2026～2028年度
更新	全校の普通教室・職員室など	2030～2032年度 6期に分けて順次
新設	小：特別教室・体育館・給食室 中：武道場・給食室 特別支援学校：体育館・給食室	

更新・新設は、設計から工事・維持管理（最長15年）までを民間事業者にまとめて任せる「PFI方式」。2028年度までに事業者を選び、総事業費は約723億円（公債費を含む）の見込み。断熱に関しては、各学校のリフレッシュ工事時に合わせて行われる予定。

出典：令和8年6月定例会 子ども文教委員会 報告資料

多胎児家庭の外出支援 “使える”支援へ



Q1. 多胎児家庭の外出支援が昨年度から始まった。マッチングが難しかったという声も聞いている。改善に向けての考えは。

A1. この事業を担う事業者を随時募集している。新しい事業者にも声をかけて広げていくことが課題。

Q2. 現在の利用期間は生後12か月までとなっている。1歳になれば子どもが自分で動き回るようになり、外出のハードルはより高くなる。利用期間の延長や、多胎児は小さく生まれることもあるため、育ちに応じた「修正月齢」の考え方についての検討は。

A2. ふたごやみつごを育てる家庭のニーズを知るため、各区役所の保健センターが行っている「ふたごの集い」でアンケート調査をお願いしている。その中では「0歳までででは短い」「利用回数（15回）は多ければ多いほど、育児の不安が少なくなる」という意見が出ている。今後の事業の展開を検討していく。

多胎児家庭サポート事業→

ふたごの集いや母子手帳の交付のときに、「使うかどうかは分からなくても、とりあえず登録！！」と伝えてほしいと提案しました。
今年度からは、外出時の付き添いに加えて家での育児の手伝いも対象になり、支援が広がっています。



病児保育室　空白地域の解消とオンライン予約

Q1. 病児保育室の整備について、施設によって受け入れ人数にかなり差がある。また、オンラインでの予約・申請はどのように考えているのか。

A1. 今後、保育の需要が増えると見込まれるエリアを優先して整備し、施設の空白地域の解消に努めている。オンライン予約については、保護者からの要望はあるが、病状を電話で詳しく聞き取る必要があるという施設側の意向もあり、これまで電話での予約としている。今後も、各病児保育室との懇談会の場で意見交換をしながら検討していく。





あなたと一緒に手をとりあってつながるさいたま市を
社会全体で子ども・子育てを支える



市政に関するみなさんのご意見・ご要望をお聞かせください

出雲けいこ事務所　Fax 048-715-0919までお送りください。こちらからもお受けしています→

お名前　　**お電話**

ご住所

お名前や連絡先が無記載の場合は、回答することが困難になりますのでご記載ください。

（仮称）さいたま市口腔保健センター等施設建設（建築）に向けて ≪保健福祉委員会関連議案より≫

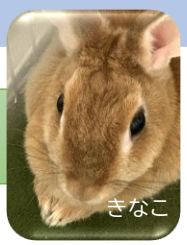
中央区本町東4丁目に、口腔保健センター、与野休日急患診療所、与野歯科休日急患診療所が入る2階建ての施設の工事契約（約16億円）が議決されました。完成は2028年11月の予定です。

口腔保健センターは、一般の歯科診療所では治療が難しい、障害のある子どもや大人、要介護の高齢の方などのための歯科診療所です。全身麻酔室や個室の診察室を備え、週5日（年間約240日）診療します。



保健福祉委員会にて
議事進行中

12月定例会は、11月25日～12月18日までの24日間(予定)。
一般質問に登壇予定です。



きなこ

出雲けいこ プロフィール

京都市生まれ、立命館大学 国際関係学部 卒業。

子どもが1歳の時に、東日本大震災を経験し、家族だけで子どもたちを守ることには限界があり、地域・社会全体で子どもを守り、支えていくことが必要だと考えるようになりました。

阪神淡路大震災・東日本大震災、令和元年東日本台風（台風19号）を経験、日頃の備えの必要性を痛感し防災アドバイザーとしても活動中。台風19号時は災害復旧ボランティア活動にも参加。

趣味は梅干しやお味噌づくり、読み語りボランティア、多言語活動など。

埼玉県冒険遊び場づくり連絡協議会 プレイリーダー基礎研修修了。

【所属】保健福祉委員会（委員長）、市庁舎特別委員会（副委員長）
立憲民主党、気候危機・自治体議員の会、若手議員の会会員、WOMAN SHIFT（届きづらい女性の声を政治につなぎ、政策実現することをミッションとする団体）、学びの多様化議員連盟、生活クラブ生協組合員など。